

英語科学習指導案

単元名 **Lesson6 My Dream (NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2)**
単元で育成する資質・能力の重点 **思考力・判断力・表現力**

- 1 日 時 令和2年11月18日(水) 3校時 場所 2年2組教室
2 学 年 第2学年2組 (男子22名 女子18名)
3 単元名 Lesson 6 My Dream (NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition2)

4 単元について

(1) 単元観

本単元では、中学校学習指導要領(平成20年)解説、外国語、第2章 外国語の目標及び内容等の第2節2内容における(3)言語材料 エ 文法事項(カ) to不定詞の名詞としての用法、形容詞としての用法、副詞としての用法を文法の指導内容として構成する。これまでに2年生では、過去や未来を表す表現、接続詞の that や if, 第2・4文型などを学習してきた。Lesson4では動名詞を学習し、不定詞の名詞的用法と同義である「～すること」の英文にはある程度の慣れ親しみがある。本単元で to 不定詞を学習することにより、生徒は自分のしたいことや好きなことを今までより幅広く表現したり、目的や物の説明をしたりすることができるようになり、表現の幅は格段に広がる。また、to 不定詞を学習することによって、「方向」を表す前置詞の to の物理的な方向だけでなく心の動く方向も解釈できるようにすることが可能である。このことで前置詞の概念的な理解にもつなげることができ、動名詞との区別を感覚的にすることができるようになる。

本単元の題材としては、職業や職場体験についての英文を扱っている。本文の内容として、職場体験への意気込みや体験を終えての感想、そして読み物として最先端技術に関する将来の夢についてのスピーチ原稿を扱っており、生徒の将来を考えさせられる内容となっている。今年度は新型コロナウイルスの影響で、本学年は職場体験学習が中止となったが、進路学習として高校調べや職業調べを行ってきており、総合的な学習の時間と関連付けながら進めることができる題材である。また、Lesson 6のあとにはProject 2として自分の夢を紹介するスピーチの原稿を作成する単元があり、それと結びつけながらも進めることのできる単元である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、英語の授業に意欲的に取り組むことができる学級である。英語の授業での帯学習等では多くのペアで楽しみながら会話をする様子がよくうかがえる。英語の授業だけに限らず、活発な授業が行える学級である。しかし、ペアの学習やグループ学習においては、組み合わせによってはうまく行えない時があり、注意が必要である。まだ幼い面がある生徒も多数おり、授業中の切り替えや家庭学習への意欲などには課題がある。

単元実施前にレディネステストを行い、表1のような結果になった。Lesson 4で学習した動名詞についてはほぼ定着しており、名詞的用法の使い方は導入しやすいと予想できる。一方で名詞の後置修飾に関しては大きな課題があった。日本語に対して同じ語順にしてしまう生徒が多く、形容詞的用法の導入は定着のための繰り返しが必要である。toの後ろに動詞の原形を置くことの定着はおおむねできていると考えられる結果となった。

表1 レディネステストの結果

〔動名詞の定着〕 (1)私は料理をすることが好きです。【語順整序】 【 like / I / cooking 】.	正答率 97%
---	---------

〔名詞の後置修飾〕 (2) 世界中の多くの人々【語順整序】 【 the world / many / around / people 】.	正答率 37%
〔to + 動詞の原形〕 (3) 私はその部屋の掃除をしなければなりません。【適語選択】 I have to (cleaning / clean / cleans) the room.	正答率 82%

英語科で行った4件法のアンケートは表2のようになった。本学級は英語を苦手としている生徒が多く、得点層は上位と下位の差がとて大きい。しかし、ほとんどの生徒が英語は将来必要であり、もっとわかるようになりたいと感じている。苦手な生徒でも1回1回の授業で分かったことが少しずつ増えていくようにスモールステップの授業構成が必要である。また、将来の夢がある生徒は8割に満たず、将来の夢について英作文をするときには配慮が必要である。

表2 英語科アンケートの結果

質問項目	肯定的回答	否定的回答
①英語の授業は好きだ。	82%	18%
②英語で自分のことを表現できたら楽しい。	79%	21%
③英語は将来、必要(大切)になってくると思う。	95%	5%
④英語がもっとわかるようになりたい。	95%	5%
⑤自分には将来の夢がある。	79%	21%

(3) 指導観

本校では、研究主題として「主体的・対話的で深い学びのある授業の創造～ユニバーサルデザインを通して～」を設定し、授業改善に取り組んでいる。本単元を実施するにあたり、重点化する資質・能力を思考力・判断力・表現力とし、単元内容を構成する。本単元では、題材が職場体験学習についてのことで、本学年の生徒たちは実際には職場体験を行っていない実態があり、そのような生徒に合わせた配慮も必要である。また事前アンケートの結果から、前述のような実態があるため、以上の点を踏まえて、本単元を指導するにあたって次の3点を重点的に指導していきたい。

① 単元の終末に「自分の夢」について書く課題を設定し、そのまとめに向けて単元全体を通して帯学習の時間やまとめの時間に準備を積み上げていくこと。

単元の終末には、Project 2で扱われている「自分の夢」についてスピーチ原稿を書く活動と発表する活動を取り入れ、その指導を通して思考力・判断力・表現力を養っていく。本単元で学習した to 不定詞や既習の動名詞を使いながら、自分の夢について書いていく。そのために、まず単元の初めから職業に関わる英単語を継続的に導入し、あらゆる職業を英語で言えるようになることと、総合的な学習の時間に調べ学習をして発表した内容なども関連付ける。単元を進めていく中で、自分の夢を紹介する英文やそれに関わる理由などが言えるようになる時間には、終末のプロジェクトに向けた英文も意識的に作らせる。

実際にスピーチの原稿を書く段階では、マッピングを使ってブレインストーミングを行い、日本語を英語に訳していく。そのために、定期的マッピングを使った one minute スピーチも帯学習に取り入れていく。また、和英辞典を積極的に用いさせ、自学ができるように指導をしていく。

②to 不定詞の各用法の導入には、ペアやグループでの学習を取り入れ、協働的に学ぶ場面を設定し、小集団や大集団で思考させること。

本単元では、to 不定詞の用法のうち、補語・主語・目的語となる名詞的用法、名詞を修飾する形容詞的用法、副詞的用法のうち目的を表すものをこの順で学習する。それぞれの用法を学習する時間を1時間ずつ設け、ゲーム要素を組み込んだペアやグループやクラスワークを取り入れ、楽しみながら自己表現ができるように進める。

③ユニバーサルデザインとして、毎時間の授業では様々なことの可視化を行うこと。

本校の研究内容にあるユニバーサルデザインの3つの原理を積極的に取り入れる。本単元では、まず「学習モデルの活用」として、単元の終末のライティングで、複数のモデル文を提示する。完成イメージや使われやすい語句・文法を示すことで、自分で考えることが難しい生徒もモデル文をアレンジして使うことができるようになる。「認め合いのある学び」として振り返りカードの相互交流を行う。振り返りカードは裏に単元のまとめを書く仕様にしており、各々がその単元で大切だと思うことを自由に書くことができる。この交流を通して、自己肯定感や単元の振り返りを有効に行いたい。「学習の可視化」として、職業の写真等を積極的に用いることと、学習の流れを黒板に表示することを行う。職業の写真と英単語が自動的に結びつくまで帯学習の中で積み上げていく。また、毎時間使用する学習の流れをテンプレートとしてラミネートしておくことで、効率化も図る。

5 単元の目標

○to 不定詞を用いて、自分自身のことなどをまとまりよく書いたり話したりすることができるようにする。【外国語表現の能力】

○to 不定詞を用いた文の意味や構造を理解できるようにする。【言語や文化に対する知識・理解】

○言語活動に関心を持ち、ペア活動やグループ活動の際に自分の考えを述べたり自己表現をするなどして主体的に相手と交流する態度を養う。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○まとまりのある英文を読み、全体の概要や内容の要点を適切に理解できるようにする。【外国語理解の能力】

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化に対する知識・理解
①言語活動について関心を持ち、ペア活動やグループ活動の際に、自分の考えなどについて主体的に相手と交流している。	①to不定詞を用いて、自分自身のことなどをまとまりよく書いたり話したりしている。	①まとまりのある英文を読み、全体の概要や内容の要点を適切に理解している。	①to不定詞を用いた文の意味や構造を理解している。

7 本単元で育成したい資質・能力

本単元で育成したい資質・能力	「思考力・判断力・表現力」
----------------	---------------

達成時の生徒の具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を用いているいろいろなことを正しく表現している。 ・終末では自分の将来の夢などについて不定詞等を用いながら表現している。
本単元の指導で工夫する点	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の導入の際にはゲーム感覚で楽しみながらできるペア活動やグループ活動を取り入れる。 ・終末では、マッピングを用いたブレインストーミング法を使って自分の将来の夢についての思考を行わせる。
努力を要する生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文などの文型を見える化し、模倣しやすいようにする。

8 指導と評価の計画
(全 11 時間)

次	学 習 内 容	評 価					
		関	表	理	知		
1	○単元の導入 《GET Part1》 ○to不定詞名詞的用法を用いた活動	○			○	エ①to不定詞を用いた文の意味や構造を理解している。 ア①言語活動について関心を持ち、ペア活動やグループ活動の際に、自分の考えなどについて主体的に相手と交流している。	観察 ワークシート
	《GET Part1》 ○本文の内容理解			○		ウ①まとまりのある英文を読み、全体の概要や内容の要点を適切に理解している。	定期テスト
2	《GET Part2》 ○to不定詞副詞的用法を用いた活動 (本時 3 / 11)	○			◎	エ①to不定詞を用いた文の意味や構造を理解している。 ア①言語活動について関心を持ち、ペア活動やグループ活動の際に、自分の考えなどについて主体的に相手と交流している。	観察 ワークシート
	《GET Part2》 ○to不定詞形容詞的用法を用いた活動				○	エ①to不定詞を用いた文の意味や構造を理解している。	観察 ワークシート

	《GET Part2》 ○本文の内容理解			○	ウ①まとまりのある英文を読み、 全体の概要や内容の要点を適切に 理解している。	定期テスト
3	《USE Read》 ○スピーチ原稿の内容理解			○	ウ①まとまりのある英文を読み、 全体の概要や内容の要点を適切に 理解している。	定期テスト
	《USE Read》 ○スピーチ原稿の内容理解			○	エ①to不定詞を用いた文の意味 や構造を理解している。	定期テスト
4	《復習》 ○不定詞3用法のまとめ			○	エ①to不定詞を用いた文の意味 や構造を理解している。	ワークシ ート
5	《Project2》 ○自分の夢についてのスピー ーチ① ・リスニング ・マッピング			○	ウ①まとまりのある英文を読み、 全体の概要や内容の要点を適切に 理解している。	観察 ワークシ ート
	○自分の夢についてのスピー ーチ② ・ライティング			○	イ①to不定詞を用いて、自分自身 のことなどをまとまりよく書いたり 話したりしている。	ワークシ ート
	○○自分の夢についてのスピー ーチ③ ・スピーチのときに気を付 けたいこと ・プレゼンテーション			◎	イ①to不定詞を用いて、自分自身 のことなどをまとまりよく書いたり 話したりしている。	発表

9 本時の学習

(1) 本時の目標

○to不定詞の副詞的用法を用いた文の意味や構造を理解できるようにする。【言語や文化に対する知識・理解】

○言語活動に関心を持ち、ペア活動やグループ活動の際に自分の考えを述べたり自己表現をするなどして主体的に相手と交流する態度を養う。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 観点別評価規準

エ①to不定詞を用いた文の意味や構造を理解している。【言語や文化に対する知識・理解】

ア①言語活動について関心を持ち、ペア活動やグループ活動の際に、自分の考えなどについて主体的に相手と交流している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(3) 資質・能力育成のポイント

・不定詞の導入の際にはゲーム感覚で楽しみながらペア活動やグループ活動を取り入れる。

(4) 準備物

教科書，ノート，ファイル，ワークシート，TV，パソコン，パワーポイント

(5) 本時の学習の展開

	主な発問と学習活動	教師の働きかけ	
		指導上の留意点 (◇)・支援 (*)	評価 (◎) [方法]
導入 12分	<ul style="list-style-type: none"> ○Greeting ○インプットシートで単語の復習 ○マッピングを使ってone minute speech ○職業の名前の復習 ○本時の目標の確認と Reflection Sheetへの記入 	<ul style="list-style-type: none"> ◇本時の流れを板書しておく ◇帯学習はルーティンだが毎回変化を持たせる *読み方の練習を行う *スピーチの題材で使えるようなヒントを与える *絵や写真と関連付けて覚えさせる 	
<h2 style="margin: 0;">不定詞を使って，目的を表現しよう</h2>			
展開 33分	○前時の復習と新文法の導入	◇生徒とのやりとりで進める	
	<p>T: Look at this picture. Where is it? S: It's Naoshima Island. T: I want to go to Naoshima because I want to see many arts. Where do you want to go in Japan? S: I want to go to ---. T: Very good. Let's tell your opinion to your partner. Do Janken and the winner tells your opinion to your partner, "I want to go to ----. How about you?" And continue talking. S: ----Pair Talk---- T: (Point some students.) Where do you want to go in Japan? S: I want to go to -----, I want to go to -----. I want to go to -----. T: Why do you want to go to ----? You can use Japanese. S: -----だから。 T: -----するために～へ行きたい。などの「目的」今日は英語で言えるようになるろう。</p>		
	○不定詞の副詞的用法の導入 (パワーポイント)	<ul style="list-style-type: none"> *写真と関連付けて英文を導入する ◇to不定詞の部分を強調して発音させる 	◎ア①言語活動について関心を持ち，ペア活動やグループ活動の際に，自分の考えなどについて主体的に相手と交流している。 [観察]
<p>I will go to Naoshima to see the arts. I went to Aeon to buy new clothes. Let's go to the zoo to see capybara.</p>			

	<p>○全体練習 (パワーポイント)</p> <p>○グループ活動 ・4人班でマッチングゲームを行う ・4人班でカードゲームを行う</p> <p>・ワークシートに正しい英文の組み合わせを記入する</p> <p>○ペア活動 ペアで「～するために○○へ行きたい」を伝え合う</p>	<p>◇パワーポイントを穴埋めにして答えさせる</p> <p>◇カードゲームを円滑に行うために、先にマッチングさせる *低学力の生徒が多い班に重点的に支援を行う *黒板に可視化する</p> <p>◇黒板の英文を隠す</p> <p>◇文法導入の際に行ったペアでの会話を思い出させる</p>	<p>◎エ①to不定詞を用いた文の意味や構造を理解している。 [ワークシート]</p>
ま と め 5 分	<p>○本時の復習</p> <p>○ノート記入</p> <p>○Reflection Sheetの記入</p>	<p>◇パワーポイントと板書を使って復習を行う</p> <p>◇Reflection Sheetには今日のポイントを記入させる</p>	

(6) 板書計画

本時の目標 不定詞を使って目的を表現しよう

I want to go to Naoshima to see the arts.	I want to visit Egypt	to see
---	-----------------------	--------

わたしはアートを見るために直島へ行きたい。

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">不定詞</div> to+動詞の原形 《副詞用法》～するために

・
 ・
 ・
 ・
 ・